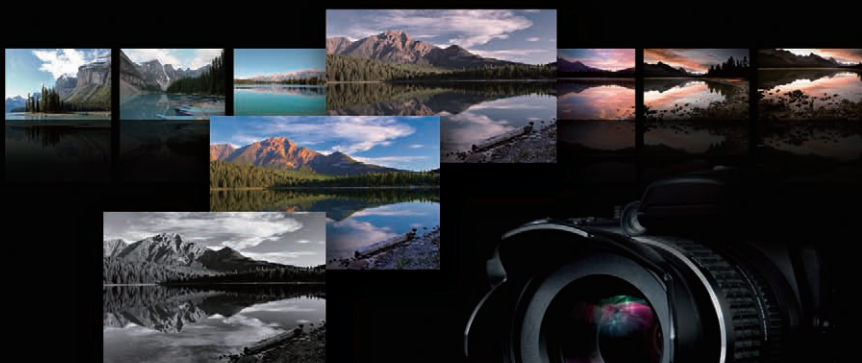


# acdsee™ pro 3

写真家のワークフローを加速する統合ソリューション



## スタートアップ ガイド

## 賠償責任の告示

本文書の情報は、商品性、権原、特定の目的・使用への適合性に対する、明示的、黙示的保証等を含め、表明、保証等一切なしで「現状のまま」で提供されます。本文書の製作には充分注意しておりますが、著者および ACD Systems は、本文書に含まれている指示の使用あるいは不使用に直接的あるいは間接的に起因する、あるいは起因すると主張される損害に関し、いかなる個人あるいは団体組織に対しても一切の責任を負わないものとします。ACD Systems は、本文書を予告なく改訂する権利を留保するものです。

## 著作権および商標

ACDSee Pro Photo Manager ソフトウェアおよびドキュメンテーションは、設計・プログラムされたもので、著作権があります。Copyright (c) 2005-2009 ACD Systems International Inc. All rights reserved worldwide. ソフトウェアを無断で複製することは固く禁じられています。

ACD、ACDSee、ACDSee ロゴは、ACD Systems International Inc. の商標で、カナダ、米国、EU、日本、その他の国で登録されている場合があります。

Adobe、Acrobat、PhotoShop、PostScript、XMP は、米国あるいはその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

Apple、Macintosh、QuickTime は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。

Paint Shop Pro は、カナダ、米国、その他の国における Corel Corporation およびその子会社の商標または登録商標です。

DirectX、Internet Explorer、Microsoft、Windows、Windows ロゴ、Windows Media、Windows Vista、Windows Vista スタートボタンは、米国あるいはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

その他のマーク、製品名、会社名は、それぞれの所有者の所有物です。

## サードパーティソフトウェアライセンス

本ソフトウェアには、本契約の残りの部分と共に受諾し、合意した以下の公示に従って使用される ACD Systems およびそのサプライヤーのソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアには、Calendar-Based Image Asset Organization のメソッドとシステムが含まれています。(特許番号 US 7,398,479 B2)

本製品には、Adobe Systems Incorporated によるライセンスに基づく DNG 技術が含まれています。詳細については、以下に示されています。 <http://www.adobe.com/products/dng/main.html>. All rights reserved.

XMP Toolkit 4.1.1 の著作権は Adobe Systems Incorporated に帰属します (copyright © 1999 - 2007, Adobe Systems Incorporated All rights reserved.)。本ソフトウェアは、著作権所有者および提供者によって「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性を含めこれに限定されることなく、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証を行わないものとします。いかなる場合であれ、著作権所有者または提供者は、本ソフトウェアの使用に起因する、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、結果的損害（代替製品またはサービスの調達、使用不能、データ、利益の喪失、事業の中断を含むがこれに限定されない）に関し、そのような損害の可能性が示唆されていたかどうかにかかわらず、もしくは契約、厳格責任、不法行為（過失であるかどうかに関係なく）による場合であっても、一切の責任を負わないものとします。

Xalan および Xerces ライブラリは、Apache License, Version 2.0 (以下「ライセンス」) により許諾されています。このファイルは、ライセンスに沿った形以外では使用できません。ライセンスは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> から取得することができます。該当する法律により求められる場合や書面により同意された場合を除き、このライセンスにより配布されるソフトウェアは、「現状のまま」で明示的であれ黙示的であれ、一切の保証や条件なしに提供されます。ライセンスの下での許可や制限を規定する具体的な表現については、ライセンスをご覧ください。

米国政府の制限された権利。本ソフトウェアは制限された権利とともに提供されます。政府による使用、複製、公表は、DFARS 252.227- 7013, Rights in Technical Data and Computer Software 条項の (c)(1)(ii) 項、または 48 CFR 52.227-19, Commercial Computer Software Restricted Rights 条項の (c) (1) 項および (2) 項に述べられている制限を受けます。製造者は、Chilkat Software, Inc., 1719 E Forest Ave, Wheaton, Illinois 60187 USA です。

本ソフトウェアは、Independent JPEG Group の著作物に一部基づいています。

LibTIFF による TIFF サポート。Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler, Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc. 本公示は、ソフトウェアと関連ドキュメントのすべてのコピーに表示する必要があります。Sam Leffler および Silicon Graphics の名称は、Sam Leffler および Silicon Graphics の特定の事前の承認なしに、ソフトウェアに関連した広告または出版物で使用することはできません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性を含めこれに限定されることなく、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証を行わないものとします。いかなる場合であれ、SAM LEFFLER および SILICON GRAPHICS は、本ソフトウェアの使用または性能に起因する、不使用、データ、利益の喪失の結果から生じる、特殊、付随的、間接的、結果的損害に関し、そのような損害の可能性が示唆されていたかどうかにかかわらず、一切の責任を負わないものとします。

MPEG 1 コーデックは MainConcept 2008 に著作権があります。MainConcept ログおよび 'Codec By' ログは、MainConcept AG またはその子会社の登録商標であり、MainConcept は、MainConcept AG またはその子会社の商標です。

CD/DVD レコーディングソフトウェアは、Padus, Inc. からのライセンスで開発されました。http://www.padus.com Copyright 1996-2007 Padus, Inc. All Rights Reserved.

本ソフトウェアには、米国フロリダ州タンパ市の Pegasus Imaging Corp. が著作権を有する画像処理コードの一部が含まれています。Pegasus Imaging Corp., Tampa FL, ALL RIGHTS RESERVED.



# 目次

<b>ACDSee Pro へようこそ</b>	<b>1</b>
ACDSee Pro について	2
ACDSee Pro のモード	2
<b>管理</b>	<b>5</b>
概要	6
参照	6
フォルダ、カレンダー、お気に入り	7
フィルタ、グループ、並べ替え、表示、選択	7
検索	8
データベース	8
プロパティ	8
インポート	9
整理	11
カテゴリ	11
タグ	12
重要度	13
<b>表示</b>	<b>15</b>
概要	16
フルスクリーン	16
ズーム	17
整理	18
<b>処理</b>	<b>19</b>
ワークフロー	20
現像	22
保存、完了、キャンセル	22
調整	23
ディテール	24
ジオメトリ	25
設定のコピー	26
オリジナルの復元	27
編集	28
保存、完了、キャンセル	28
選択範囲	29
修整	30
テキスト	32

<b>ACDSee Online</b>	<b>33</b>
概要	34
ACDSee Online アカウントの作成	34
ログイン	34
画像のアップロード	34
<b>次のステップ</b>	<b>37</b>

## ACDSee Pro へようこそ

業界をリードするデジタル画像管理ソフトウェアの ACDSee Pro 3 をお選びいただき、誠にありがとうございます。ACDSee Pro は高速でパワフルなだけでなく、使い方がとても簡単なため、デジタル画像の管理、表示、処理、共有に不可欠なツールです。

# ACDSee Pro について

ACDSee Pro には、画像の管理、表示、処理、共有と、デジタル画像のワークフローの加速に役立つツールが豊富に用意されています。

- コンピュータ上で画像を参照・整理したり、カメラやメモリーカード、またはその他デバイスから画像をインポートできます。
- 画像を表示し、追加処理が必要な画像にタグを付けることができます。
- パワフルな画像処理機能を使用して、画像の編集、歪みの補正、露出とライティングの調整、透かしや枠などの特殊効果の追加を行うことができます。
- ACDSee Online アカウントを使用して画像を共有できます。

本書では、製品を使い始めることができるように、これらの基本機能の一部のみについて説明します。ACDSee Pro のすべての機能とツールの詳細は、ACDSee Pro のヘルプファイルをご覧ください。ACDSee Pro の使用中に、<F1> キーを押すだけでいつでも呼び出すことができます。

## ACDSee Pro のモード

ACDSee Pro には、管理、表示、処理、Online の 4 つのモードがあります。デジタル画像のワークフローの各段階でよく使用されるツールは、これらのモードごとに分かれています。



## 1 管理モード

管理モードは、ファイルの参照と管理を主とした ACDSee Pro を起動すると最初に表示されるモードです。管理モードでは、ハードディスクやリムーバブル ディスクに保存されているファイルを検索、移動、プレビュー、フィルタリングすることができます。また、カテゴリ、キーワード、その他のメタデータを追加してファイルを整理し、ファイルを検索しやすくすることもできます。

画像の参照時に ACDSee Pro によってファイルがカタログ化され、ファイル プロパティとメタデータが自動的に ACDSee Pro データベースに記録されるため、ファイルをプログラムにインポートする必要はありません。

ACDSee Pro を使用してカメラなどのデバイスからコンピュータにファイルをインポートすることは可能です。インポート ツールを使用する場合は、ファイルをインポートするときに、フォルダの作成、ファイル名の変更、カテゴリ情報の追加、バックアップの作成ができます。

## 2 表示モード

表示モードでは、画像を 1 つずつ表示できます。画像を拡大・縮小したり、フルスクリーン表示することができます。また、画像プロパティの表示、画像の一部の拡大表示、カタログ情報の追加、追加処理が必要な画像へのタグ付けを実行することもできます。

管理モードでファイルをダブルクリックすると、表示モードに切り替えることができます。フィルム ストリップを使用して、フォルダや選択したファイル グループに含まれるすべての画像を素早く切り替えられるようになります。

## 3 処理モード

処理モードでは、非破壊編集が行える [ 現像 ] サブモードで画像を調整したり、ピクセルレベルの [ 編集 ] サブモードで画像補正や調整を行います。

画像全体の非破壊編集 (トリミング、回転、カラーやライティングの調整、シャープネス、ノイズの除去、透視歪みの補正) を行うときは、[ 現像 ] サブモードを使用します。

画像の選択範囲に最終仕上げを加えたり、枠、テキスト、透かしなどのクリエイティブな効果を加えるときは、[ 編集 ] サブモードを使用します。

## 4 Online モード

Online モードでは、画像を簡単な方法で ACDSee Online にアップロードできます。ACDSee Online は、次の場所にあるオンラインの画像共有・保存サービスです。

[www.acdseeonline.com](http://www.acdseeonline.com)

Online モードでは、コンピュータ上の画像を選択し、それを自分の ACDSee Online アカウントに直接ドラッグ & ドロップできます。

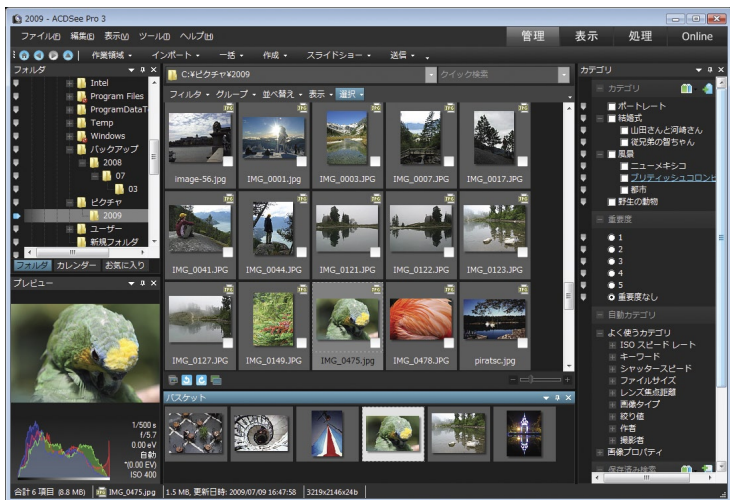


## 管理

管理モードでは、ハードディスクやリムーバブル ディスクに保存されているファイルの参照、カメラなどのデバイスからの画像のインポート、カテゴリや重要度などのファイル プロパティを利用した画像の整理、追加処理が必要な画像へのタグ付けを実行できます。

# 概要

管理モードは ACDSee Pro を起動すると最初に表示されるモードです。ファイルと画像の参照や整理は、管理モードで行います。高度な検索やフィルタリング機能を設定したり、画像のサムネイルをプレビュー表示することができます。



# 参照

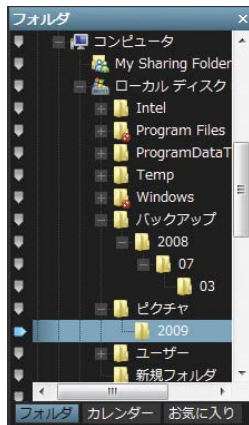
ACDSee Pro では、ハードディスクやリムーバブル ディスクに保存されているファイルを参照できます。ACDSee Pro にファイルをインポートする必要はありません。表示したいファイルのある場所に移動するだけで表示できます。

## フォルダ、カレンダー、お気に入り

ファイルを参照するいちばん簡単な方法は、フォルダ ペインを使用する方法です。これは、Windows エクスプローラでフォルダ ツリーを使用するように操作できます。展開するには、フォルダをダブルクリックします。[+]と[-]のアイコンをクリックしてフォルダを展開したり、折りたたむこともできます。選択したフォルダに含まれるファイルとサブフォルダは、ファイル一覧ペインに表示されます。

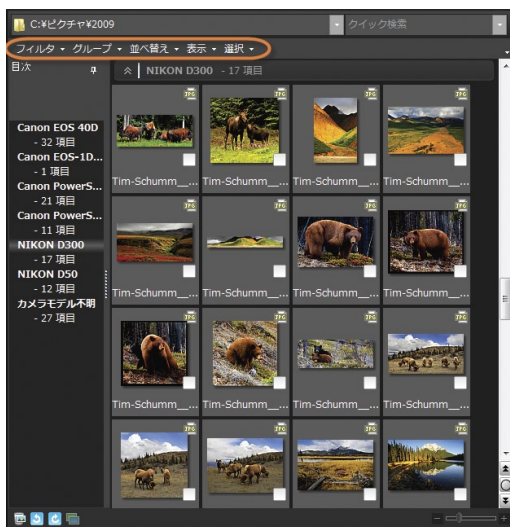
ファイルを参照すると、ACDSee Pro はそのファイルをデータベースに追加します。カレンダー ペインを使用すると、ファイルや画像を日付で簡単に探せます。

よく探す画像やフォルダがある場合は、それをお気に入りに追加することで、お気に入りペインを使用してすぐに探せるようになります。



## フィルタ、グループ、並べ替え、表示、選択

複数のファイルを表示した状態では、ファイル一覧のツールバーにあるドロップダウンリストを使用して表示方法を変更できます。



# 検索

ACDSee Pro には、ファイルの検索に役立つ高度な検索ツールも用意されています。1 つの検索パラメータを指定してシンプル検索を行うことも、検索対象のフォルダやカテゴリを指定して検索条件を絞り込むこともできます。同じ検索を 2 回以上繰り返すときは、検索条件を保存して再利用することができます。

## 検索ペインを開くには：

[表示]メニューから [検索] をクリックします。

# データベース

ACDSee Pro を初めて使用する方は、ACDSee Pro がデータベースを使用して画像に関する情報を記録することをご存知ないかもしれません。画像が参照されると、ACDSee Pro はそのファイルに含まれるファイル プロパティやメタデータ (ファイル名、日付、カメラの種類、使用したカメラ設定など) を保存します。

ACDSee Pro を使用して画像を整理すると、カスタムメタデータもデータベースに記録されます。多くの情報を記録するほどファイルを検索しやすくなり、目的の画像を正確に検索できるようになります。

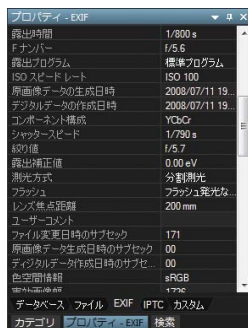
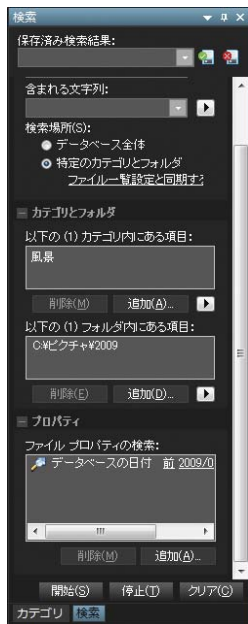
画像を別のコンピュータやリムーバブル ディスクに移動またはコピーするときは、画像ファイルにカスタムメタデータを埋め込むか、データベース情報をエクスポートできます。詳細は、ACDSee Pro 3 のヘルプをご覧ください。

# プロパティ

プロパティ ペインを使用して、データベースに記録されている情報や、ファイル、EXIF、IPTC メタデータなどの画像関連情報を表示することができます。このペインで追加情報を入力することもできます。

## プロパティ ペインを開くには：

[表示]メニューから [プロパティ] をクリックします。



# インポート

カメラやリムーバブル ディスクに保存されている画像をコンピュータに移動するときは、ACDSee Pro を使用して画像をインポートできます。ACDSee Pro では、「インポート」はカメラやリムーバブル ディスクからコンピュータに画像をコピーまたは転送することを意味します。

[インポート] ダイアログ ボックスでは、ファイルのインポート以外にも次の操作を実行できます。

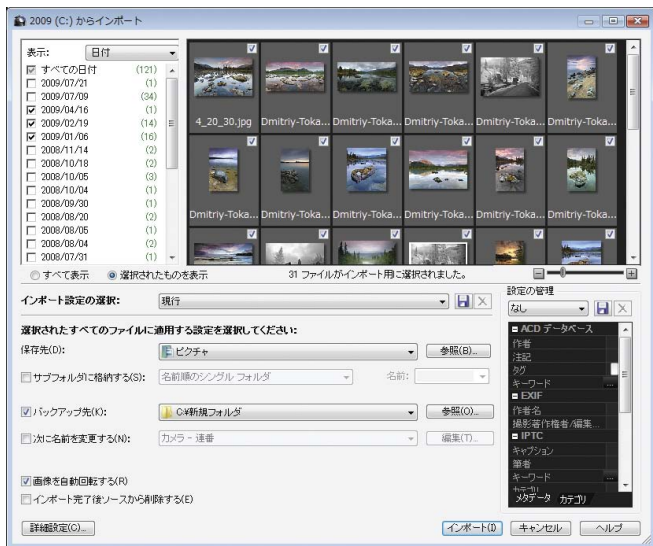
- 1つあるいは複数のフォルダの作成と名前の入力
- バックアップ用として、フォルダと画像の複製セットを作成
- 名前の変更テンプレートを使用して、各ファイルの名前を変更
- カメラの種類によっては、その情報に従ってファイルを自動回転
- ファイルに1つまたは複数のカテゴリを追加
- 作者、注記、キーワード、EXIF や IPTC データ、著作権情報などを追加
- RAW と JPEG の両方のファイルを扱うことのできるカメラをご利用の場合は、これらを分けて1セットを新しい名前の付いたサブフォルダに格納

これらのインポート設定を保存して後で繰り返し使用したり、異なる作業別に異なる設定を保存したりすることができます。

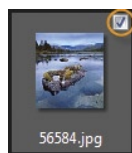
[インポート] ダイアログ ボックスを使用して画像をインポートするには：

- 1 カメラとコンピュータを接続します。
- 2 カメラの電源を入れます。
- 3 [ACDSee デバイス検出] ダイアログ ボックスが表示されたら [ACDSee でファイル  
をインポートする] を選択して [インポート] ダイアログ ボックスを表示します。

カメラをコンピュータに接続してもデバイス検出が表示されない場合は、[ファイル] メニューから [インポート] を選択し、[デバイスから] をクリックして [インポート] ダイアログ ボックスを表示します。



- 4 [インポート] ダイアログ ボックスが表示されたら、デバイスに記録されている画像をフィルタリングする条件 ([日付] または [ファイルの種類]) を選択します。
- 5 左のペインに表示される日付またはファイルの種類のチェックボックスを選択またはクリアします。例えば、先週末に撮影した写真だけをインポートしたい場合は、該当する日付のチェックボックスだけを選択します。
- 6 選択した画像のみを表示するには、[選択されたものを表示] ラジオボタンをクリックします。
- 7 また、プレビューペインでは 1 画像だけ、または複数のグループをまとめてインポート用を選択することも可能です。各サムネイルの右上にある小さな四角をクリックして、チェックボックスを選択あるいはクリアします。
- 8 画像を選択したら、画像の保存先、バックアップ先、名前の変更、回転などのインポート オプションを選択します。
- 9 カテゴリ、キーワード、その他メタデータなどの管理設定を選択・入力することもできます。
- 10 インポートの準備が完了したら、[インポート] をクリックします。



# 整理

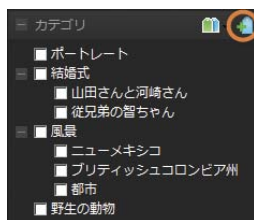
管理モードまたは表示モードでは、カテゴリと重要度を追加したり、画像にタグをつけて、一度に複数の画像に管理設定を適用して画像を整理できます。画像を整理すると、目的の画像を素早く見つけれられるようになります。

## カテゴリ

カテゴリは、画像のコピーを作成したり、別のフォルダに移動することなく、画像を整理したりグループ化したりできる便利なツールです。カテゴリを使用すれば、似たような内容の画像を1クリックで見つけることができます。画像には、複数のカテゴリを適用することができます。

カテゴリはユーザーの好みに合わせてアレンジするものですが、スタートに役立ついくつかの方策をご紹介します。

- 最上位のカテゴリに、風景、人物、結婚式、旅行などをテーマにしたカテゴリを作成します。その下に、サブカテゴリを作成していきます。例えば、「風景」の中に、「プリティッシュコロロンビア州」「ニューメキシコ」「都市」などのサブカテゴリを作成します。画像が複数のカテゴリやサブカテゴリに該当する場合があります。フォルダの構造とは異なり、画像のコピーを作成する必要はありませんので、複数のカテゴリに割り当てることができます。
- カテゴリを使用してワークフローを作成し、印刷準備の完了した画像、編集が必要な画像を識別します。カテゴリを使用して、どのような編集が必要かを明らかにすることも可能です。例えば、「編集」というカテゴリを作成し、その下に「露出」「カラーキャスト」「シャープネス」などのサブカテゴリを作成します。これで、特定の修正が必要な画像を適切なカテゴリに適用して区別することができます。編集が完了したら、カテゴリからその画像を削除するだけです。



### 新しいカテゴリを作成するには：

- 1 カテゴリペインで、次のいずれかの操作を行います。
  - 新しい最上位カテゴリを作成するときは、**[新規カテゴリ]** ボタンをクリックします。**[カテゴリの作成]** ダイアログ ボックスで **[トップ階層に新規カテゴリを作成する]** を選択します。
  - 既存カテゴリ名を右クリックし、**[新規カテゴリ]** を選択します。**[カテゴリの作成]** ダイアログ ボックスで **[選択したカテゴリにサブカテゴリを作成する]** を選択します。
- 2 **[名前]** テキスト ボックスに新しいカテゴリの名前を入力します。
- 3 **[OK]** をクリックして新しいカテゴリを作成し、カテゴリペインに追加します。

## 画像をカテゴリに割り当てるには：

- 1 ファイラー一覧から1つまたは複数の画像を選択します。
- 2 次のいずれかを実行します。
  - カテゴリ ペインでカテゴリの横のチェックボックスを選択します。
  - ファイラー一覧からカテゴリ ペイン上のカテゴリ名まで画像をドラッグ & ドロップします。

## カテゴリに含まれる画像を表示するには：

[カテゴリ] ペインでカテゴリの名前をクリックします。

## 画像をカテゴリから解除するには：

- 1 カテゴリから削除する画像をファイラー一覧で選択します。
- 2 そのカテゴリのチェックボックスをクリアします。

# タグ

結婚式やモーターショーなどの大きな行事では、通常、数百枚という大量の画像が撮影されます。撮影が完了したら、コンピュータにそれらの画像を転送して表示し、ベストショットのみをまとめて選択しなければならない場合がほとんどです。タグは、ベストショットを素早く表示させる最も簡単な方法です。またこれらのベストショットをまとめて表示し、編集あるいは確認することができます。

サムネイルの右下に、タグが付けられたことを示すチェックボックスが備えられています。画像にタグを付ける、またはタグを解除するときは、このチェックボックスをクリックします。一度タグの付けられた画像は、チェックボックスからチェックマークを解除しない限り、タグが付いたままの状態になります。

クリックひとつでタグの付いた全画像を表示できます。カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、画像をまとめて管理することができます。

## 画像にタグを付けるには：

- 管理モードで、サムネイルの右下にあるチェックボックスを選択します。
- ¥(円記号)のキーボードショートカットを使用します。

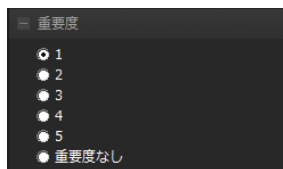


# 重要度

誰かに作品サンプルを送ったり、特別なプロジェクト用に画像をまとめなければならない場合にベストショットを簡単に検索できるように、画像に重要度を設定することもできます。重要度を設定する画像を個別に選択することも、重要度を設定する画像グループにタグを付けることもできます。

## 画像に重要度を設定するには：

- 1 ファイル一覧から 1 つまたは複数の画像を選択します。
- 2 次のいずれかを実行します。
  - カテゴリ ペインで重要度番号の横のラジオボタンを選択します。
  - ファイル一覧からカテゴリ ペイン上の重要度番号まで画像をドラッグ & ドロップします。
  - **<Ctrl> + <0 から 5>** のキーボードショートカットを使用します。





## 表示

表示モードに切り替えることで、画像をフルスクリーン表示したり、拡大して詳細を確認できます。画像を整理するときは、プロパティペインを使用します。

# 概要

画像をフルスクリーン表示したり、一部を拡大して詳細を確認するときは、表示モードで選択画像をスクロールします。画面下部に表示されるフィルム ストリップを使用することで、表示する画像に素早く移動できます。このモードでは、フルスクリーン表示、画像の拡大、タグ付けによる画像の整理、重要度またはカテゴリの適用などの操作を実行できます。



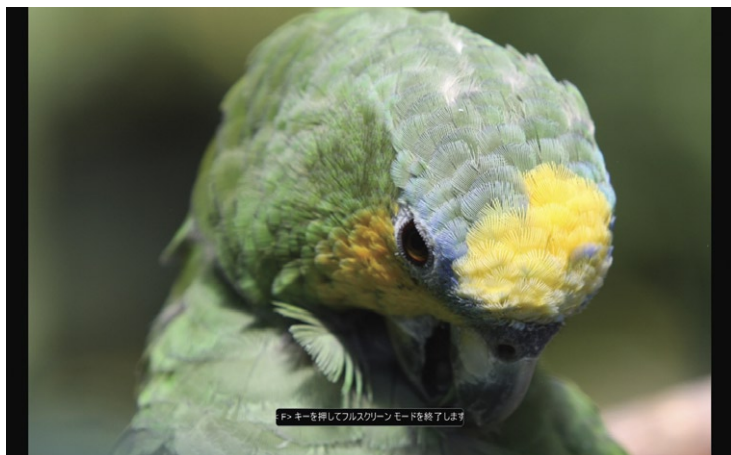
## フルスクリーン

ウィンドウの境界やメニュー、ツールバー、フィルム ストリップを表示せずに画像のみを表示できると便利な場合もあります。フルスクリーン表示では、画像を画面全体に表示できます。

画像をフルスクリーン表示するには：

表示モードで、次のいずれかの操作を行います。

- **[表示]**メニューから**[フルスクリーン]**をクリックします。
- **<F>** キーを押します。



次の画像または前の画像を表示するときは、マウス ホイールまたはキーボード ショートカットを使用します。

フルスクリーン表示を終了するには：

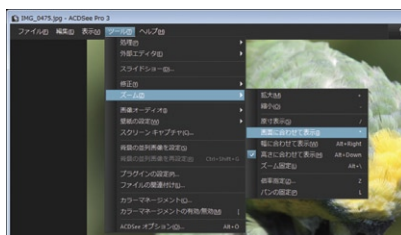
<F> キーを押します。

## ズーム

表示モードでは、画像をフルスクリーン表示する以外にも、ズーム ツールを使用して画像を拡大・縮小できます。

画像を拡大または縮小するには：

- [ツール] メニューから [ズーム] を選択し、いずれかのズーム メニュー オプションを選択します。



# 整理

表示モードでは、管理モードと同じツール（カテゴリ、タグ、重要度など）を使用して画像を整理できます。

画像の重要度、タグ、カテゴリを設定するには：

- 1 【表示】メニューから【プロパティ】を選択してプロパティペインを開きます。
- 2 画像のスクロールにはフィルム ストリップを使用します。
- 3 重要度またはカテゴリを設定する画像を表示したら、次のいずれかの操作を行います。
  - 重要度を設定するときは、プロパティ ペイン上の重要度番号をクリックします。
  - タグを付けるときは、【タグ】チェックボックスを選択します。
  - カテゴリを適用するときは、1 つまたは複数のカテゴリの横のチェックボックスを選択します。



## 処理

処理モードでは、非破壊編集が行える [ 現像 ] サブモードで画像を調整したり、ピクセルレベルの [ 編集 ] サブモードで画像補正や調整を行います。

[ 現像 ] サブモードには、[ 調整 ]、[ ディテール ]、[ ジオメトリ ] の 3 つのツールグループが搭載されています。[ 調整 ] ツールは、露出、自然な彩度、ホワイトバランス、ライティング、カラー、トーンを調整します。[ ディテール ] ツールは、シャープネスの調整とノイズ除去を行います。[ ジオメトリ ] ツールは、レンズの歪み、回転、透視の補正、トリミングを行います。

[ 編集 ] サブモードには、画像の修整に役立つツールと、特殊効果、枠、透かしを追加するためのツールが含まれます。

# ワークフロー

処理モードのワークフローを使用することで、画像の現像と編集を簡単に行うことができます。

- 1 まず、**[現像]**サブモードのツールを使用して画像全体の調整と補正を行います。
- 2 次に、**[編集]**サブモードのツールを使用して画像の一部を加工したり、枠、テキスト、透かし、特殊効果などを加えます。



## サブモード 用途

### 現像

画像全体を調整（トリミング、回転、カラーやライティングの調整、シャープネス、ノイズの除去、透視歪みの補正）するときは、**[現像]**ツールを使用します。

これらの変更は、確定的な変更ではありません。未確定の調整はACDSee Pro データベースに保存されるため、元の画像を復元することができます。

次の画像に移る、モードを切り替える、または**[保存]**か**[完了]**をクリックすると、変更内容が保存されます。この画像を次に開くと、すべてのスライダの位置が前回の終了時の状態に戻るため、過去に加えた変更を取り消したり、追加の調整を加えることができます。

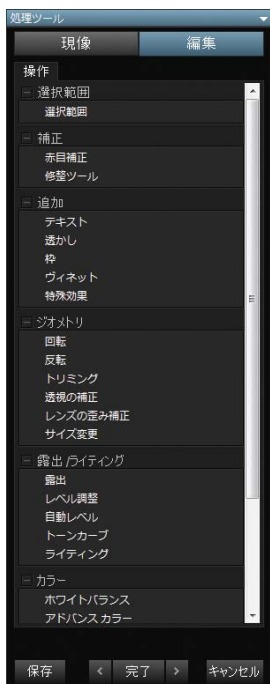
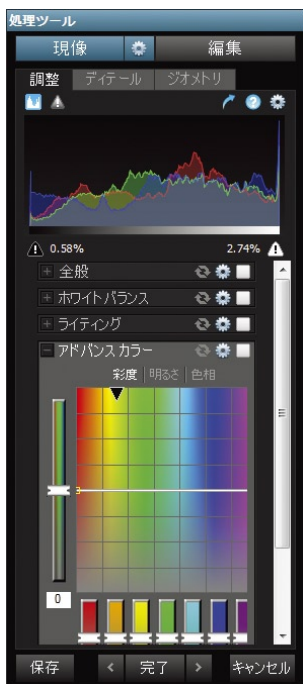
## サブモード 用途

### 編集

画像の選択部分を加工したり、枠、テキスト、透かしなどのクリエイティブな効果を加えるときは、[編集]サブモードのツールを使用します。

[編集]サブモードにも、ジオメトリ、露出/ライティング、カラーのツールがあります。これらのツールと選択範囲ツールを組み合わせることで、画像の選択部分を編集したり、現像サブモードで加えた変更を調整できます。

これらの変更はピクセル ベースの編集であり、ファイルの保存時に画像に含まれるピクセルが変更されます。エンコード可能なファイル (JPEG ファイルなど) では、現在の画像に変更を適用して保存したり、画像に別の名前を付けてコピーを保存できます。エンコード不可能なファイル (RAW ファイルなど) では、画像を別のファイル フォーマットで保存する必要があります。



# 現像

[現像] サブモードには、[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]の3つのツールグループが含まれ、調整や修整を画像全体に適用できます。[調整] ツールは、露出、自然な彩度、ホワイトバランス、ライティング、カラー、トーンを調整します。[ディテール] ツールは、シャープネスの調整とノイズ除去を行います。[ジオメトリ] ツールは、レンズの歪み、回転、透視の補正、トリミングを行います。調整を加えると、右側のペインに変更内容がプレビュー表示されます。画像が希望どおりに表示されるまで、ツールを何度も切り替えて調整を続けることができます。

ここでは、これらのツールの一部のみについて説明します。ぜひ ACDSee Pro を操作して使用できるすべてのツールを確認し、使用方法について ACDSee Pro 3 のヘルプを参照してください。

## 保存、完了、キャンセル

画像の調整に取りかかる前に、ACDSee Pro で画像がどのように保存されるかを理解しておくことが重要です。[現像] サブモードでは、調整した画像を保存すると、調整内容がデータベースに保存されます。その画像を次に [現像] サブモードで開くと、スライダの位置は前回の終了時の状態に戻ります。そこから画像をさらに調整したり、一連の設定をリセットする、または画像を以前のバージョンに復元することができます。

[保存]、[完了]、[キャンセル] ボタンを使用して、各画像に加えた調整を順に保存する、複数の画像を調整して処理をキューに入れる、または現在の画像に加えた調整をキャンセルすることができます。変更の保存時に最もよく使用されるボタンは [完了] です。



次の表は、各種オプションを説明しています。

ボタン	説明
完了	画像に加えた調整内容を保存し、直前のモードに戻ります。
< >	フィルムストリップの次の画像、または前の画像に切り替えます。このオプションを使用すると、画像に加えた調整内容は処理のためにキューに入れられます。最終的な画像の調整が完了したら、[完了] をクリックします。処理待ち状態の項目がすべて処理され、保存されます。

## ボタン

## 説明

### 保存

名前を付けて保存：調整した画像のコピーを保存します。

エクスポート：調整した画像を別のファイルフォーマットおよび指定の解像度でエクスポートします。

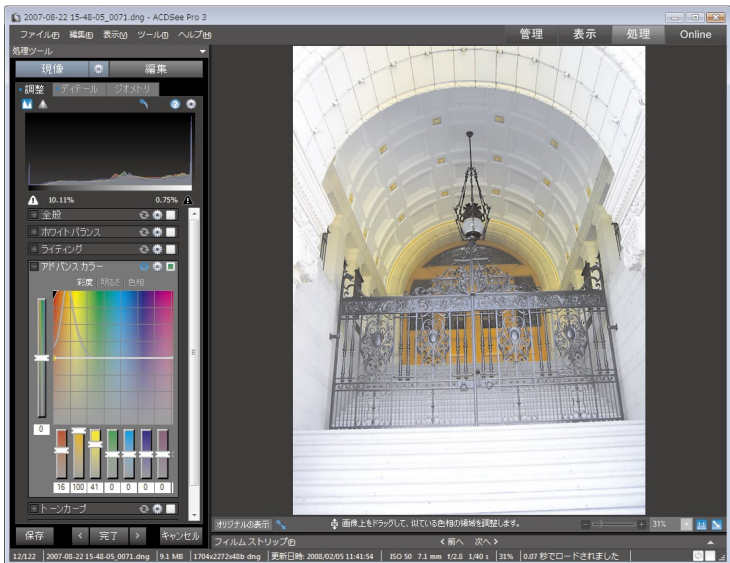
クリップボードにコピー：別のプログラムに貼り付けられるように、調整した画像をクリップボードにコピーします。

### キャンセル

画像の調整をキャンセルします。複数の画像を調整した場合は、現在の画像に加えた変更のみがキャンセルされ、キューに入れているその他の項目は処理され、保存されます。

## 調整

[調整] タブには、露出、自然な彩度、ホワイトバランス、ライティング、カラー、トーンを調整するためのツールが用意されています。



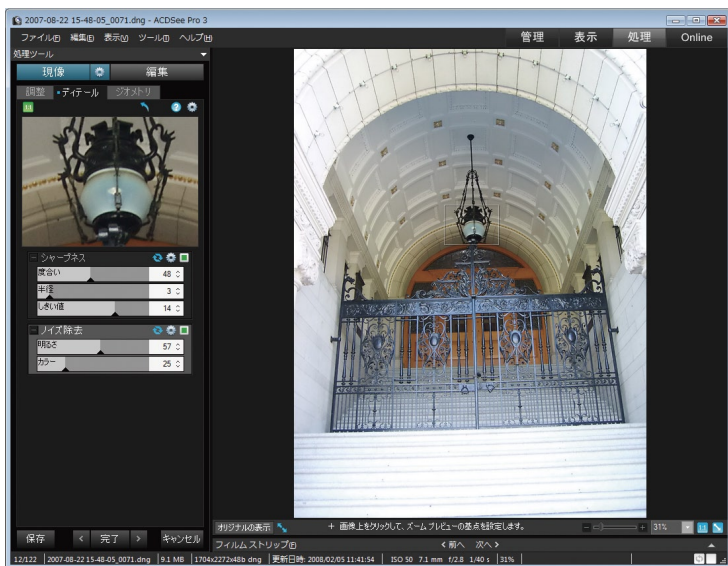
[調整] ツールを使用するには：

- 1 処理モードで [現像] をクリックします。
- 2 [現像] サブモードで [調整] タブを選択します。

[現像] ツールを使用して調整を行う際に [オリジナルの表示] ボタンをクリックすると、調整の前後の画像を比較できます。

## ディテール

[シャープネス] の各スライダを使用して画像のディテールをはっきりさせ、画像を鮮明にします。



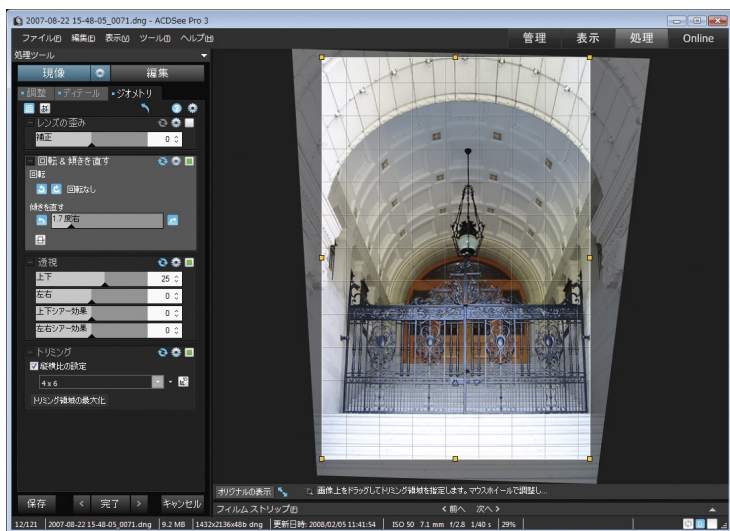
[ディテール] ツールを使用するには：

- 1 処理モードで [現像] をクリックします。
- 2 [現像] サブモードで [ディテール] タブを選択します。

画像の一部を 100% の倍率で表示するときは、左側のプレビュー領域を使用します。画像をプレビュー領域内で移動したり、右側のペインで画像上の四角形をドラッグして、画像の別の部分を表示することができます。

# ジオメトリ

[ジオメトリ] タブには、レンズの歪みと透視を修整するためのツールと、回転とトリミングのためのツールが用意されています。

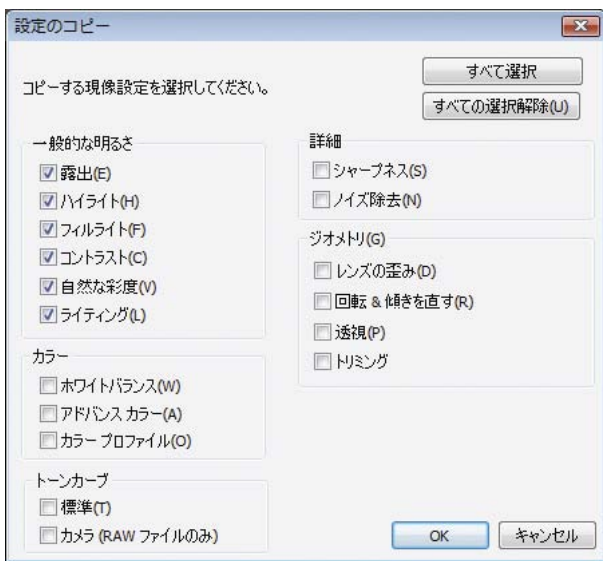


[ジオメトリ] ツールを使用するには：

- 1 処理モードで [現像] をクリックします。
- 2 [現像] サブモードで [ジオメトリ] タブを選択します。

# 設定のコピー

撮影した何枚かの画像のそれぞれに同じ調整を適用するときは、1つの画像の設定をコピーして別の画像に簡単に貼り付けることができます。



設定をコピーして貼り付けるには：

- 1 処理モードで最初の画像を調整し、画像を保存します。
- 2 管理モードに切り替えて、処理した画像を選択します。
- 3 【ツール】メニューから【処理】を選択して、【設定のコピー】をクリックします。
- 4 【設定のコピー】ダイアログ ボックスでコピーする現像設定を選択し、【OK】をクリックします。
- 5 設定を適用する画像を選択します。
- 6 【ツール】メニューから【処理】を選択して、【設定の貼り付け】をクリックします。各画像に設定が適用されます。

# オリジナルの復元

画像の現像が完了し、適用した設定が ACDSSee Pro データベースに保存されると、ファイルを開くたびにその設定を利用できるようになります。1 つまたは複数の画像を選択して、選択した画像から現像設定を削除できます。

画像から現像設定を削除するには：

- 1 管理モードまたは表示モードで画像を選択します。
- 2 **【ツール】**メニューから**【処理】**を選択し、**【オリジナルに戻す】**をクリックします。

# 編集

[編集] ツールを使用すると、画像を加工できます。[現像] サブモードと同じツールもありますが、[編集] サブモードではこれらのツールを選択範囲ツールと組み合わせて使用し、画像の特定領域を微調整できます。画像に特殊効果、枠、透かし、テキストを加えることもできます。

ここでは、これらのツールの一部のみについて説明します。ぜひ ACDSee Pro を操作して使用できるすべてのツールを確認し、使用方法については ACDSee Pro 3 のヘルプを参照してください。

## 保存、完了、キャンセル

画像の編集を始める前に、ACDSee Pro で画像がどのように保存されるかを理解しておくことが重要です。[編集] サブモードでは、画像に加えた編集内容を保存すると、JPEG のようにエンコード可能なフォーマットの場合は、新しい設定を使用して画像が保存され、RAW のようにエンコード不可能なフォーマットの場合は、異なるファイル フォーマットで画像が保存されます。

[保存]、[完了]、[キャンセル] ボタンを使用して、各画像に加えた編集を順に保存する、複数の画像を編集して処理待ちとする、または現在の画像に加えた編集をキャンセルすることができます。



次の表は、各種オプションを説明しています。

ボタン	説明
完了	画像に加えた編集内容を保存し、直前のモードに戻ります。
< >	フィルム ストリップの次の画像、または前の画像に切り替えます。このとき、画像に加えた編集内容は処理のためにキューに入れます。最終的な画像の調整が完了したら、[完了] をクリックします。処理待ちのすべての項目が処理され、保存されます。
保存	<p><b>名前を付けて保存：</b>編集した画像のコピーを保存します。</p> <p><b>保存：</b>編集した画像を保存します。RAW ファイルには変更を直接保存できないので、RAW 画像では [保存] を使用できません。[名前を付けて保存] を使用して、編集した画像を別のファイル フォーマットで保存してください。</p> <p><b>クリップボードにコピー：</b>別のプログラムに貼り付けられるように、編集した画像をクリップボードにコピーします。</p>

## ボタン

## 説明

### キャンセル

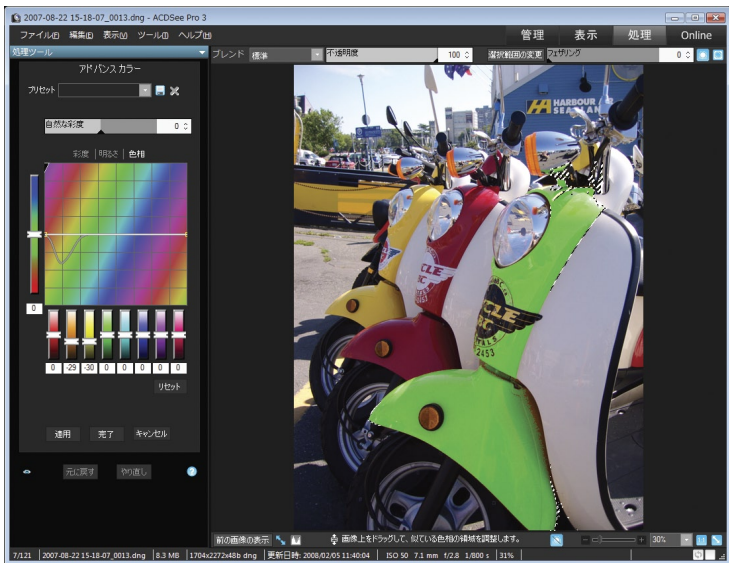
画像の編集をキャンセルします。複数の画像を編集した場合は、現在の画像に加えた変更のみがキャンセルされ、処理待ち中のその他の項目は処理され、保存されます。

## 選択範囲

画像の一部の領域のみに編集やフィルタを適用するときには、選択範囲ツールを使用して画像の特定領域を分離します。

ACDSee Pro では 2 通りの方法で選択範囲ツールを使用できます。

- [アドバンス カラー] などの編集ツールを開き、ツールの使用中に [選択範囲の作成] をクリックして選択範囲を作成します。選択範囲を作成したら、[アドバンス カラー] ペインに戻って選択領域を調整します。
- 選択範囲ツールを開いて最初に選択範囲を作成し、その上で [アドバンス カラー] などの編集ツールを使用して画像の選択領域を調整します。



この例では、自動選択ツールを使用して手前の黄色のスクーターを選択し、次に [アドバンス カラー] ツールを使用してスクーターが緑で表示されるように色相を調整しています。

## 選択範囲ツールを使用するには：

- 1 処理モードで **[編集]** サブモードをクリックします。
- 2 いずれかの編集ツールを選択します：  
例えば、**[カラー]** グループから **[アドバンス カラー]** をクリックします。
- 3 **[選択範囲の作成]** をクリックします。
- 4 いずれかの選択範囲ツールを選択し、画像の特定領域を選択します。
- 5 選択範囲を作成したら、**[完了]** をクリックします。  
選択範囲がアクティブの状態が表示されます。
- 6 **[アドバンス カラー]** などの編集ツールを使用して、画像の選択領域を編集します。

## 修整

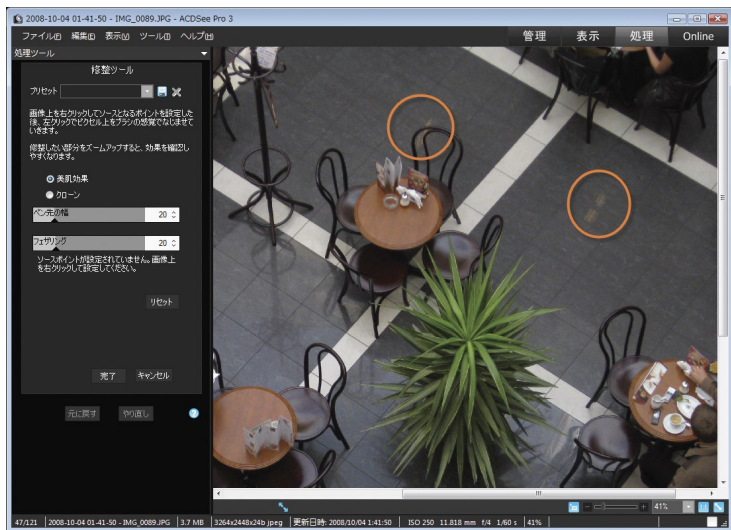
[修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を補整することができます。

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水の雫

[修整] ツールには、欠点や傷を除去するために 2 種類のブラシが用意されています。

- **美肌効果**：画像の特定領域から別の領域にピクセルをコピーするときは、**[美肌効果]** ブラシを使用します。ACDSee Pro はソース領域とターゲット領域のピクセルを分析し、両方の領域のピクセルをブレンドして周囲となじませます。**[美肌効果]** ブラシは肌や毛皮など、表面が細かい画像の修整に効果的です。
- **クローン**：画像の特定領域のピクセルを別の領域にそのままコピーして全く同じ画像領域を作成するときは、**[クローン]** ブラシを使用します。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。このような画像では、完成した写真の中のどこがコピーしたピクセルかを見分けるのが難しいためです。

次の例では、2 箇所反射光が見られます。**[美肌効果]** または **[クローン]** ブラシを使用してこれらの反射を補整し、画像を改善できます。



## 画像を補整するには：

- 1 処理モードで【編集】サブモードをクリックします。
- 2 【補正】グループから【修整】ツールをクリックします。
- 3 【ズーム】スライダをドラッグし、修整する領域を拡大します。
- 4 【美肌効果】または【クローン】を選択します。
- 5 次のいずれかまたは両方を実行します：
  - 【ペン先の幅】スライダをドラッグし、ブラシの幅を設定します。
  - 【フェザリング】スライダをドラッグし、ブラシの端に適用するフェザラーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。
- 6 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。  
この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。
- 7 コピーしたい領域をクリック＆ドラッグします。  
美肌効果ツールを選択した場合には、マウスボタンを放した際にピクセルの分析と置き換えが行われます。
- 8 【完了】をクリックして変更を適用し、ツールを閉じます。

# テキスト

画像にキャプションを加えるときは、[テキスト]ツールを使用します。テキストは、画像上のあらゆる場所に移動することができます。



画像にテキストを追加するには：

- 1 処理モードで[編集]をクリックします。
- 2 [追加]グループから[テキスト]をクリックします。  
画像の中央にテキストボックスが表示されます。
- 3 [テキストの追加]ペインにキャプションを入力します。
- 4 フォント属性とその他のテキスト効果を調整します。
- 5 テキストボックスをクリック&ドラッグして画像上の希望する位置に移動します。
- 6 次のいずれかの操作を実行します。
  - 画像にテキストを追加して[テキストの追加]ツールを開いたまま残すときは、[適用]をクリックします。
  - 画像にテキストを追加して[編集]サブモードに戻るときは、[完了]をクリックします。

再利用できるようにオプションをプリセットとして保存する方法については、ACDSee Pro 3 のヘルプを参照してください。

## ACDSee Online

Online モードを使用することで、ACDSee Online に画像をアップロードして友人や一般ユーザーに簡単に公開できます。Online モードでは、コンピュータ上の画像を選択し、それを自分のACDSee Onlineアカウントに直接ドラッグ&ドロップできます。

# 概要

ACDSee Online は、次の場所にある画像共有・保存サービスです。

[www.acdseeonline.com](http://www.acdseeonline.com)

Online モードを使用して画像をアップロードし、ACDSee Pro からオンライン画像を直接参照できます。ACDSee Online アカウントを作成してログインするだけで、画像をアップロードできるようになります。

## ACDSee Online アカウントの作成

ACDSee Online に画像をアップロードするには、事前にアカウントを作成する必要があります。アカウントを作成すると、プロフィールの更新、統計情報の表示、コンタクトの管理、共有画像の管理を実行できるようになります。

ACDSee Online アカウントを作成するには：

- 1 Online モードで **[アカウントの作成]** をクリックします。
- 2 ユーザー情報を入力します。
- 3 **[マイアカウントの作成]** をクリックします。

## ログイン

ACDSee Online アカウントを作成したら、画像をアップロードする前にアカウントにログインする必要があります。

ACDSee Online にログインするには：

- 1 Online モードで **[ログイン]** をクリックします。
- 2 電子メール アドレスとパスワードを入力します。
- 3 ACDSee Online のログイン情報を ACDSee Pro に記憶させておくには、**[ログイン状態を保持する]** を選択します。
- 4 **[ログイン]** をクリックします。

## 画像のアップロード

ACDSee Online にログインすると、自分の ACDSee Online アカウントに画像をアップロードできるようになります。これは、ACDSee Pro から ACDSee Online に画像をドラッグ & ドロップするだけの簡単な操作です。

ACDSee Pro からのアップロード時に、すべての画像は ACDSee Online によって JPEG に変換されます。

## 画像をアップロードするには：

- 1 Online モードで **[転送]** をクリックします。

ACDSee Pro のウィンドウは上下に分割されます。ウィンドウの下の部分にはコンピュータ上の画像が表示され、上の部分には自分のオンライン画像が表示されます。

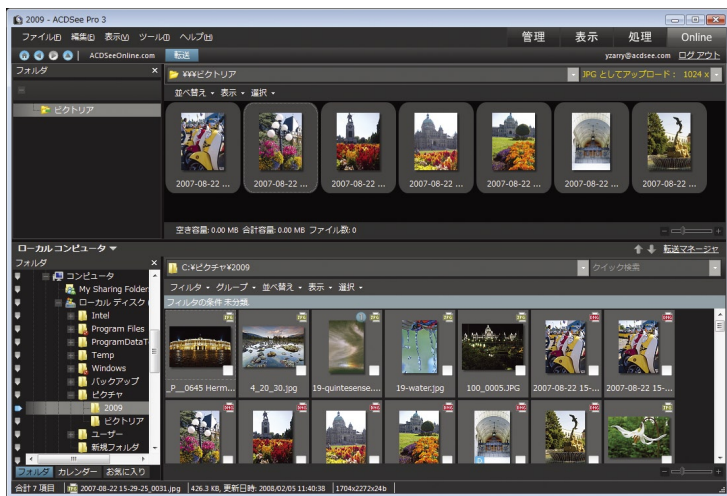
- 2 右上端のドロップダウンリストから解像度を選択します。

最低解像度 (1024 x 768) を選択することをお勧めします。これにより、画像を高速に転送でき、より多くの画像をアカウントにアップロードできます。

- 3 アップロードする画像を選択し、次のいずれかの操作、またはその組み合わせを実行します。

- ウィンドウの下の部分 (自分のコンピュータ) から上の部分 (ACDSee Online) に画像をドラッグし、ACDSee Online アカウントにアップロードします。  
複数の画像を選択するときは、<Shift> または <Ctrl> キーを押しながら画像をクリックするか、カーソルをクリック & ドラッグして選択する画像を囲みます。
- ウィンドウの下の部分から上の部分へ画像フォルダをドラッグします。

サブフォルダが含まれるフォルダもアップロードできます。画像フォルダを ACDSee Online アカウントにアップロードすると、Online モードではフォルダ階層が反映されます。





次のステップ



## 操作してみる

ACDSee Pro には、このシンプルなガイドでは記載しきれないほど、便利な機能やツールが数多く搭載されています。このガイドをお読みいただき、プログラムがファイルや画像をどのように取り扱うかご理解いただくと幸いです。

ACDSee Pro の残りの機能、そしてガイドで触れなかったその他の機能をどうぞお試しください。使用方法がわからなく困った、あるいは特定のツールや機能に関する詳細が必要な場合は、次のいずれかのオプションを選んでください。

## ヘルプ ファイルを開く

ACDSee Pro 3 のヘルプには、ACDSee Pro に搭載されているすべての機能の説明と操作手順が記載されています。ショートカット キーの一覧、各種モードの詳細な説明、およびインポート、整理、修正、そして増え続ける画像コレクションの管理方法に関する詳細説明も見つけることができます。ACDSee Pro の使用中に <F1> キーを押すことで、いつでもヘルプ ファイルを開くことができます。

## 製品サポートとリソース

インターネットに接続している場合は、[ヘルプ] メニューから [製品サポートとリソース] をクリックして、最新情報を見ることができます。このガイドの PDF ファイル、チュートリアル (PDF)、ソフトウェアのアップデートなどが公開されています。

## コミュニティ

[ヘルプ] メニューから [ACDSee コミュニティ] をクリックすると、ACDSee 製品フォーラムにアクセスできます。製品フォーラムは、その他の ACDSee Pro ユーザーと意見交換をする場所です。また、ニュースレターに登録すると、登録者のみを対象としたお得なキャンペーン情報やクーポンを得ることができます。

## ウェブ サイト

ACDSee のウェブ サイト (<http://ja.acdsee.com>) では、ACDSee Pro の最新情報やお得なキャンペーン情報、サポート情報などを提供しています。

## ACD Systems の連絡先

ACDSee Pro をご購入いただいたお客様には、カスタマーサポートを無料で提供しております。製品に関する技術的なご質問のお問い合わせ方法につきましては、下記のサイトをご覧ください。

<http://ja.acdsee.com/support>



ライセンスコード



© 2006-2009 ACD Systems International Inc. All Rights Reserved Worldwide.